

二〇五六番

あまがは 天の川 うちなしわた 打橋渡せ
いも 妹が いくち 家道
や 止まず かのよ 通はむ
とき 時待たずとも

二〇五七番

つきかさ 月重ね あおも 我が思ふ いらも 妹に
あ 逢へる 夜は
いま 今し 七夜を
つ 継ぎこせぬかも

二〇五八番

としよそ 年に装ふ わが 舟漕がむ
あまがは 天の川
かぜ 風は吹くとも
なみた 波立つなゆめ